

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和6年7月29日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
		(m)	(°C)	(PSU)	(mg/l)	sp.	ミキモトイ	アカシオ	ホリクリコイデス
1. 森崎	9:57	0	27.1	33.42	8.0	0	5	0	0
		2	26.1	33.39	8.5	0	0	0	0
		5	24.2	33.35	8.1	0	0	0	0
		10	22.9	33.48	7.8	0	1	0	0
		14.1	21.3	33.89	7.0	0	675	0	0
2. 越田尾	9:51	0	27.8	33.16	8.2	0	0	0	0
		5	24.1	33.68	8.0	0	1	0	0
3. 猪串				欠測					
4. 鵜の糞				欠測					
5. 小蒲江				欠測					
6. 屋形島				欠測					
7. 赤バエ				欠測					
8. 蒲江赤灯台	10:07	0	26.9	***	***	0	0	0	0
		2	26.1	***	***	0	1	0	0
9. 丸市尾	9:40	0	26.5	***	***	0	4	0	0
		2	25.8	***	***	0	0	0	0
10. みごの浦	9:45	0	26.0	33.58	7.6	0	18	0	0
		5	23.8	33.60	8.0	0	3	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アラビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

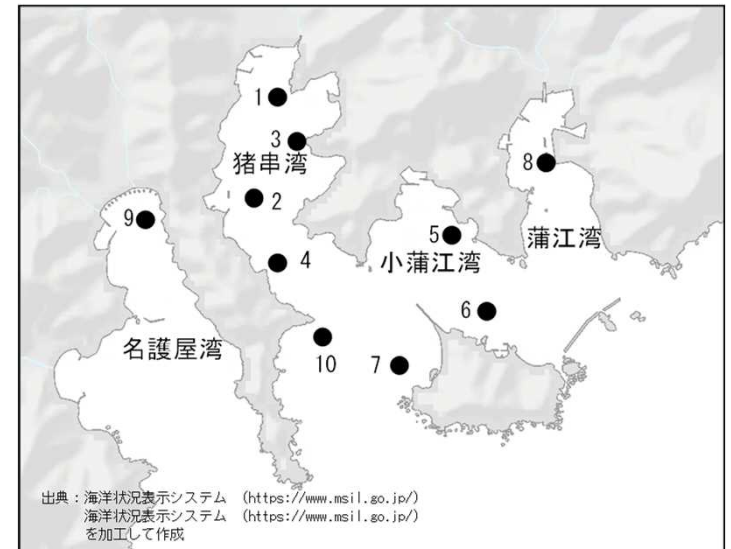
* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

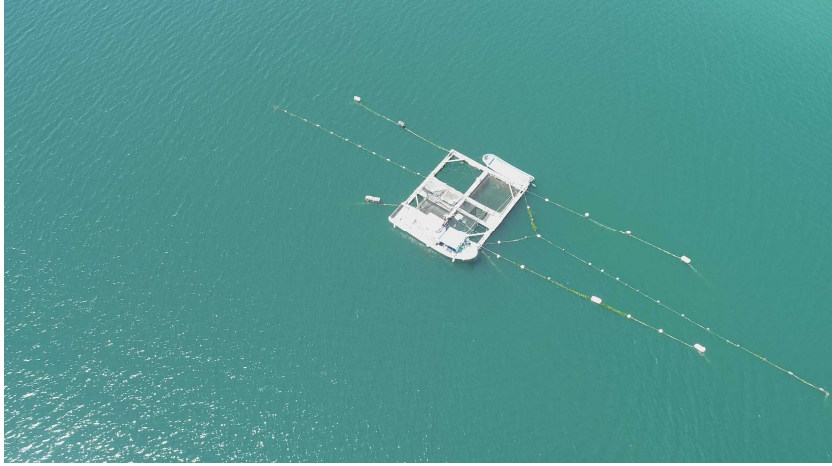
連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモトイが確認されました。

森崎の底層でカレニア・ミキモトイが注意密度を超えています。

今後の細胞密度にご注意ください。





森崎地点付近



蒲江インターパーク付近